

第6回 大阪四大学交歓演奏会

1971年6月5日

四ツ橋厚生年金会館 中ホール

Program

—エール交歓—

1. 大阪市立大学グリークラブ

組曲 「雨」

2. 大阪外国語大学グリークラブ

Nigro Spirituals

3. 大阪府立大学グリークラブ

日本民謡

4. 大阪大学男声合唱団

メンデルスゾーン作品集

5. 合同演奏

ロシア民謡

ごあいさつ

今宵は、私達の演奏会にようこそおいで下さいました。今年で、私達四大学が演奏会を持つのも六度目になりました。途中、各大学に吹き荒れた学園紛争のため、一昨年の演奏会は中止のやむなきに至りました。これに示された如く、四大学合唱連合の沿革は、穏やかなものではありませんでした。一口に四大学と申しましても、各々の大学の部員数は違い、これらの大学が四大学合唱連合という一つの組織に統一されて運営されること自体、非常な困難をともなうものです。とはいって、どの合唱団員も、演奏会を開き思い切り歌うということに、何の異存はありません。他の合唱団員と一緒にすれば、思わず力も入ろうというものです。
それでは、この日に備えて練習してまいりました私達の歌声を、最後まで、ごゆっくりお楽しみ下さい。

今宵、私達が演奏致します男声合唱組曲「雨」は、多田武彦が4人の詩人による雨をテーマにした詩をもとに作曲したものです。雨は私達にとって、大変親しい自然現象ではありませんか。緑の絶えた都会のビルの林にも、私達の家の小さな庭先にも、雨はやってきます。雨には、夏の夕立のように豪快な力強いものもあれば、梅雨の長く憂うつな雨もあります。また、冬の凍るような冷たい雨、そして春先の霧のような雨もあります。私達は、このような雨の中に何か自分の感情にマッチしたものを感じる時があります。暗く長い雨が続くと、人々は憂うつに成ります。でも、雨の上った時、人々の心にはあの清らかなすがすがしさがもたらされます。そのような雨と人間の心の交流を主題にした歌は古くから在りますが、この組曲「雨」もそのような作品の一つと言えるでしょう。組曲は6曲から成り、「雨の来る前」は、雨の力強さとウットウしさを、「武藏野の雨」では雨のわびしさを、「雨の日の遊動円木」では、人のいない雨の日の公園の冷たい風情の中に入間の孤独感をにじませ、「十一月にふる雨」では、突き刺すようなモチ一つの担々とした繰返しによって、悲哀感を盛り上げている。「雨の日に見る」では、冬の雨の日のあのもやのかかったような冷氣を通して、孤独感や、悲哀感に打ちひしがれた主人公が、庭にみごとにみのったザボンの実（ある人にとっては、それは到底実現しそうもない輝かしい理想であり、ある人にとっては、それは手のとどかない所にいる恋人であるが）と離れてじっと坐ってい

STAGE 1.

大阪市立大学・グリークラブ

組曲「雨」

多田武彦 作曲

I 雨の来る前	伊藤 整 作詩
II 武藏野の雨	大木惇夫 作詩
III 雨の日の遊動円木	大木惇夫 作詩
IV 十一月にふる雨	堀口大学 作詩
V 雨の日に見る	大木惇夫 作詩
VI 雨	八木重吉 作詩

指揮 松井繁明

る姿を浮彫りにし、「雨」では、こうした悩みや、苦しみから昇華し切った主人公が、あふれ出る涙をおさえ、しみじみと歌いおえる曲想となっています。

STAGE 2.

大阪外国語大学・グリークラブ

Nigro Spirituals

My Sour's Been Anchored in De Lord

Deep River

The Battle of Jericho

Were you there

Wade in de Water

Didn't My Lord Deliver Daniel

Soon ah will be done

黒人靈歌

黒人靈歌とは、アメリカ植民地を開拓する労働力の補給のために、アフリカ各地から奴隸として連れてこられた黒人たちが、白人から習い覚えたキリスト教の神の恵みに感激し、束縛された生活のうちに光明を見い出して歌った祈りの歌、靈魂の歌のことです。

そこには、北米の白人の宗教歌と、ニグロの故郷であるアフリカのコンゴ地方のリズムとが巧みに融合されています。

悲惨な奴隸生活の中で、キリスト教に安息の地を求めた黒人たちは苛酷な労働、肉親との離別等あらゆる苦悩からのがれるために、ひたすら神へ祈り、それを唯一の救いとした。

祈りは、時には哀愁を秘めた美しい旋律として、また時には、機関銃を打つような激しいリズムの中の叫びとして、表わされています。

指揮 葉山英行

やア、今晚ワ。10分間の休憩でしたが、ケンちゃんも、ミッチャンも、もうオシッコ済みましたか？　ハイ、第3ステージは、今夜最大の呼び物、大阪府立大学グリークラブによる演奏会が始まりますよ。舞台には動物園のオリの中に居る方がよいような顔がありますけど、ほら、ケンちゃんが天王寺動物園でやったように、動物には絶対にエサをやってはいけませんよ。　ハイ、では、府大グリーの呼び声を静かに聞きましょうね。ブー（オナラの音ではありません）

今宵は、お忙しいところようこそおいで下さいました。大阪四大学交歎演奏会も今回で第6回を迎えることができました。各大学いろんな悩み、問題をかかえながらも、こうして、演奏会を催すことは、よい意味での刺激になり、励ましになり、意気高まる思いをするのは、私一人でしょうか？

さて、堺のド田舎よりやってまいりました我が府大グリーは、大都会の赤や青のネオンの群がりの中でも、都会人の忘れかけたドロ臭い男の体臭を以って、皆様に迫るでしょう。空の色が美しいと感じるのは、あなたが生きているから。花が美しいのは、生きているから。そして、歌が美しいのは、生きているから。そこに、府大グリーがあるから。そう信じるのは、私一人でしょうか？

生きていることは、すばらしいことです。人生には喜怒哀楽が存在し、そのいかなる時

STAGE 3.

大阪府立大学・グリークラブ

日本民謡

木曾 節	石井 欽	作曲
こきり	こ 富山県民謡	小山 清茂 編作曲
南部牛追い歌	岩手県民謡	高田三郎 作曲
島原の子守歌		福永 陽一郎 編曲
遠島甚句	宮城県民謡	小山 清茂 編作曲
	指揮 門田 幸昭	

にも、歌は存在しました。今夜は、私達の祖先が語り続け、歌い続けてきた日本の民謡を、いろんな作曲家の解釈によりましてお送りします。

新学期開始以後、準備万端必らずしも充分の日数を費してはおりませんが、変わぬ御支援を以て私達の演奏を、お聴き下さいますように御礼にそえてお願ひ申し上げます。

STAGE 4.

大阪大学・男声合唱団

メンデルスゾーン作品集

トルコの乾盃歌

小夜曲

離れゆく友に

野ばら

歌のつばさに

指揮 高山 裕二

伴奏 大岩 太郎

山奥の谷川の清流に、三太郎というオオサンショウウオが住んでいる。彼がいる谷川のーか
くの流れは、それほど速くなく、水もただ水底を美しくみせるために流れ、もみじの葉をのせ
ることもある。彼の首にまだ小さなエラが付いている頃、彼は上流を散歩していく、奥に入る
ほど広くなっている洞窟を見た。彼は冒険に胸をふくらませ、未知の世界へと、ゆっくり
と、進んでいった。そんな彼の方に、奥の方から、ハコネサンショウウオの時次郎と、ブチサ
ンショウウオの銀次、それにカスミサンショウウオの千代之助が、人なつっこい様子で近よっ
てきたのである。それ以来、三太郎は彼らと、仲間のちぎりを交わし、その洞窟で4年間寝食
を共にしたのだ。その間に、エラは消え、体長は90センチメートルにもなり、肺で呼吸する立
派なサンショウウオになっていた。

老いた三太郎は、今でも昼のひなたぼっこの時、流れる葉っぱを見上げながら、その4年間
のこと、仲間のことを、なつかしく思い出すそうである。

STAGE 5.

合 同 演 奏

ロ シ ア 民 調

エ レ ベ 河

母なるヴォルガを下りて

ヴォルガの舟歌

行 商 人

指 挥 桜 井 吉 明

合 同 演 奏 指 挥 者 紹 介

桜 井 吉 明

大正9年 大阪生まれ 豊中市在住 大阪府合唱連盟副理事長
松平信博氏 ウェストミンスター合唱大学前校長 J E ウィリアム博士の指導を受ける。
コードリベット・コールの創立者・常任指揮者
広く合唱音楽の指導に当っている。

本日は、お忙しい中を、大阪四大学交歓演奏会におこし下さいましてありがとうございました。今後も、四大学発展のために、皆様の御指導御協力を、よろしくお願ひいたします。

大 阪 四 大 学 合 唱 連 合